

まちひとしごと

Vol. 5

倶知安農業高校教諭 松本 奈巳さん

地域の人々が生徒を成長をさせてくれています



一 生懸命にポテトペーストの試作をする倶知安農業高校の生徒たちを、優しく見守るまなざしがある。

松本先生が、長く勤めていた美深高校から倶知安農業高校に赴任することとなったのは、平成23年の春だった。

「倶知安町に初めて来た日は、よく晴れた日だったことを覚えています。堂々とした迫力溢れる羊蹄山に心から感動しました。初めての農業高校赴任だったので不安もありましたが、羊蹄山の姿を見て、ここで頑張っていけると思えたんです」

平成10年に発足したくちちゃん産業クラスター研究会と倶知安農業高校によって研究開発されたポテトペースト。農業高校は、ペーストを利用したプリンやアイス、ドーナツ

など多くの商品を生み出してきた。

その中、生活園芸コース2年生の生活班に在籍していた生徒6名を中心に、平成25年からニセコモンテバーの開発がスタート。松本先生はその指導にあたることになった。

「毎日がドラマチックでした。苦しみながらも、生徒たちは毎日よく頑張ったと思います」

モンテバー完成まで、生徒たちは何度も何度も試作を繰り返した。さらに、商品の流通を目標としていたため、コストや製造効率など多くの課題を、地元企業と協力し解決してきた。

「数々の失敗を乗り越え、学校外の多くの方々と協働させていただいた経験は、生徒たちを大きく成長させてくれました。改めて町の皆さんに育てていただいていることを実感しています」

今、モンテバーは安心安全な運動栄養補給食品として町内の多くの店で販売され、町民はもちろんアウトドアアクティビティーを楽しむ旅行者にも親しまれている。

「モンテバーの完成までに私自身、生徒の成長に何度もはたとさせられました。生徒はみんなそれぞれ成長の芽を持っています。その芽を伸ばす環境に生徒を引き合わせるチャンネルが見逃さない目を養っていくのが、教諭としての自分の目標です。このことに気付かせてくれたのは生

徒たちでした」

松本先生は現在、ポテトペーストの新たな展開を目指すために結成された生活班2年生、3年生の合同チームを指導している真つ最中だ。

「生徒たちは、諸先輩方の努力の結晶であるポテトペーストを多くの人に知ってもらいたいという強い思いを持ち、自らアイデアを出し合い、毎日頑張っています」

チームの目標は、コストや製法の問題で一部の業者にしか流通していないポテトペーストを、一般家庭にも届けること。これが実現すれば、倶知安町の新たな食文化として根付くことは間違いないだろう。現在、生徒たちは松本先生に見守られながら、多くの課題に立ち向かっている。「地域があつてこそその農業高校です。これから町の皆さんと多くの関わりを作っていくながら、生徒ともども成長していけたらと思います。ぜひこれからも生徒たちの取り組みを見守ってください」

松本先生は太陽のように温かくほほ笑んだ。